

グローバルAIファンド

追加型投信／内外／株式



# ポートフォリオ構築のお知らせ

「グローバルAIファンド」(以下、当ファンド)は2016年9月9日に設定され、運用を開始しました。当ファンドのマザーファンドの運用を実質的に担当するアリアンツ・グローバル・インベスターズ U.S. LLC (以下、アリアンツ) のコメントをもとにポートフォリオの状況と市場動向、今後の市場見通し等をご報告いたします。

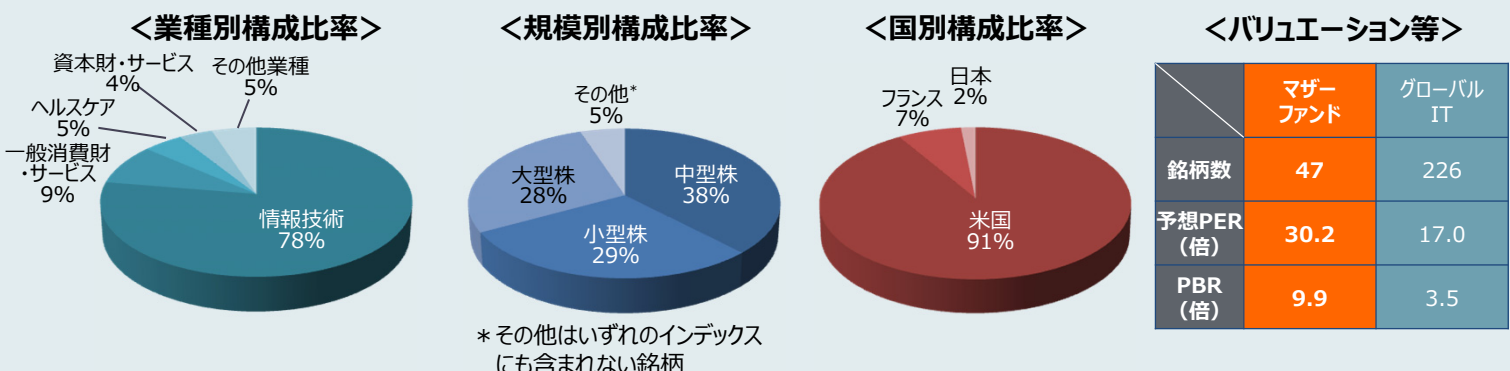
## 純資産総額は1,000億円を超えました (株式組入比率87%、9月20日時点)

当ファンドは、世界のAI(人工知能)の進化、応用により高い成長が期待される企業の株式に投資を行います。AIビジネスの拡大が収益に直結する中小型株式を中心に売上高予想成長率の高い銘柄の組入れを進めております。

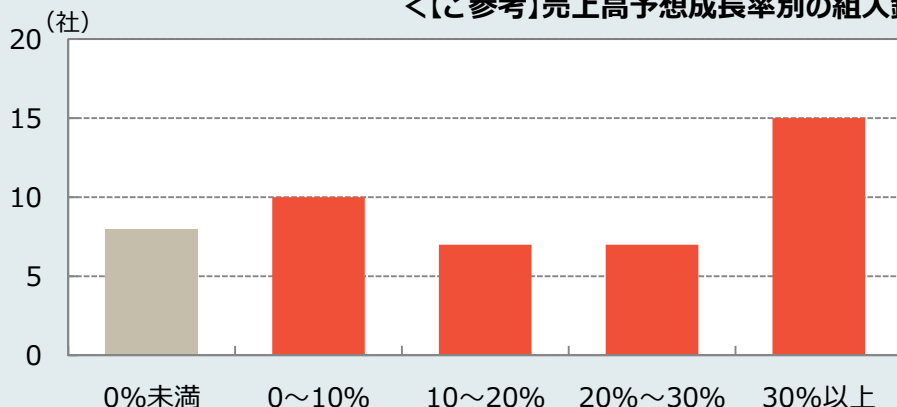
| 基準価額   | 純資産総額   | 株式組入比率 |
|--------|---------|--------|
| 9,960円 | 1,111億円 | 87%    |

(注1) データは2016年9月20日時点。  
 (注2) 基準価額は、1万円当たり、信託報酬控除後。  
 (注3) 株式組入比率は当ファンドの純資産総額に対する比率。

## マザーファンドの概況 (2016年9月14日時点)



### <【ご参考】売上高予想成長率別の組入銘柄数>



売上高予想成長率の高い銘柄が組み入れられています。

|        | 各社の売上高予想成長率の加重平均 |
|--------|------------------|
| 次回決算期  | 16.3%            |
| 次々回決算期 | 38.1%            |

(注1) 構成比率は、マザーファンドの組入銘柄の時価総額を100%として算出。四捨五入の関係上、合計値が100%とならない場合があります。  
 (注2) 規模別構成比率の大型株、中型株、小型株はMSCI AC WorldのLarge Cap、Mid Cap、Small Cap INDEXを基に分類。  
 (注3) グローバルITはMSCI AC World 情報技術セクターのデータを使用。グローバルITは当ファンドのベンチマークまたは参考指数ではありません。  
 (注4) 予想PERは、マザーファンドがアリアンツ、グローバルITがMSCIの予想。PBRは、マザーファンドが保有する各銘柄のPBRを加重平均した値です。  
 (注5) 売上高予想成長率は、各企業の売上高の前期決算期およびBloombergによる次回決算期予想を基に算出。  
 (出所) アリアンツ、Bloomberg

※上記は過去の実績および予想であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

## 情報技術の発展によりグローバルIT株式や米国株式の好調継続が予想されます

### 世界の株式市場を牽引してきた、米国株式とIT株式

ここ数年間の世界全体の株式市場を振り返ると、世界の株式市場を牽引してきたのは、国別では米国であり、業種別ではIT（情報通信）セクターでした。グローバルIT株式の騰落率は、主要10業種\*の中で、過去3年、過去1年ともに1位でした。

\*主要10業種（GICS（世界産業分類））は2016年9月1日より算出が始まった不動産を除く全業種

### 今後も、米国株式とIT株式が世界株式を牽引する見通し

#### 【米国株式】

米国株式市場は、相対的に良好な経済情勢を背景に、引き続き世界の株式市場を牽引していくと見えています。各種株価指標に割高感が台頭しているとの見方もありますが、堅調な企業業績や、過去に比べ低い金利水準から割高感はないと見られています。

#### 【IT株式】

グローバルIT株式も引き続き世界株式を牽引していくことが期待されます。

日欧や新興国の成長率の鈍化により世界経済には減速感が出ていますが、ITセクターだけは例外です。AIやクラウドコンピューティング、ロボット、IoT（モノのインターネット）等多くの分野で新技術が急速に発展しており、グローバルIT株式の成長率は加速していくと期待されます。

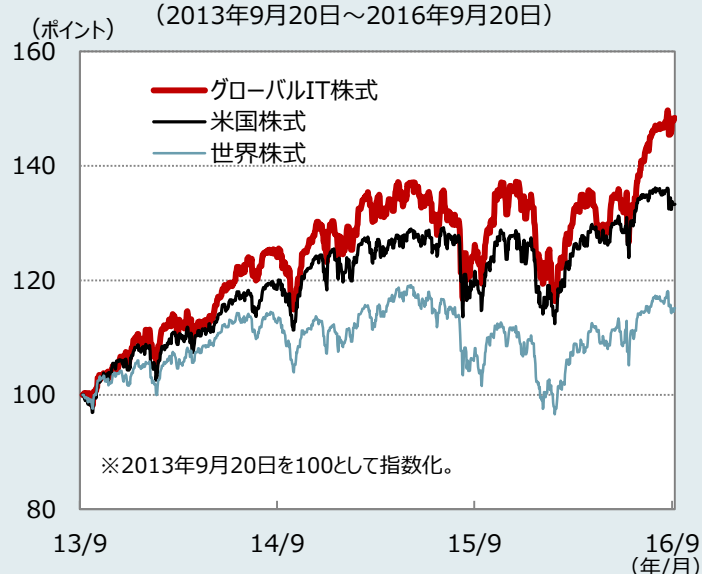
グローバルIT株式のバリュエーションにも割高感はないと見られています。また、IT株式という価格変動が大きいというイメージがありましたが、IT企業の事業分野が広がり、企業間の統合も進んだことから、今後、価格変動リスクは低下していくものと期待されます。

#### 【米国のAI関連銘柄に注目】

米国の金融引締めや、英国のEU離脱、新興国景気など、当面は世界経済全体に不透明感が残ると想定されます。こうした環境の中では成長が著しいグローバルIT株式、中でも成長力の高い米国のAI関連株式への投資魅力が高まっていくと考えられます。

#### <世界の株式市場の推移（米ドルベース）>

（2013年9月20日～2016年9月20日）

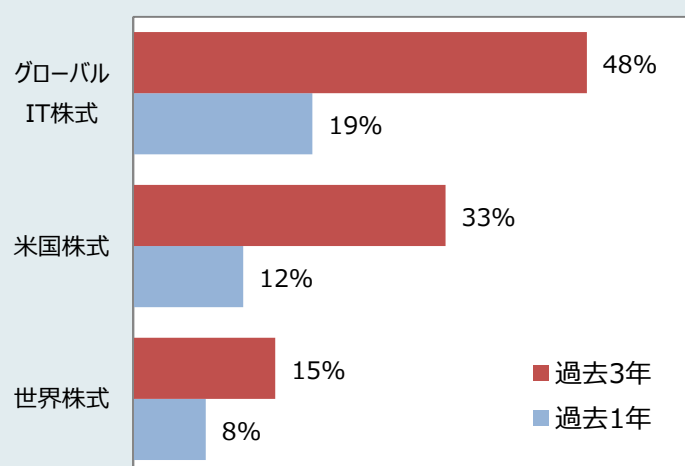


（注）グローバルIT株式はMSCI AC World 情報技術セクター、米国株式はS&P500種指数、世界株式はMSCI AC World指数。いずれも配当込みベース。

（出所）FactSet

#### <世界の株式市場の騰落率（米ドルベース）>

（2013年9月20日～2016年9月20日）



※上記の見通しは当資料作成時点のものであり、将来の投資成果および市場環境の変動等を示唆あるいは保証するものではありません。今後、予告なく変更する場合があります。

## 成長著しい中小型株を中心としたAI関連銘柄に投資を行っています

## &lt;マザーファンドの組入上位10銘柄（2016年9月14日時点）&gt;

| 順位 | 銘柄名                | ひとことという        | 概要  | 組入比率 |
|----|--------------------|----------------|---|------|
| 1  | クリテオ               | AI<br>広告代理店    | フェイスブック最大の戦略的パートナーで、同社の広告収入ビジネスを裏で支えるAI広告代理店です。EC（電子商取引）サイト利用者のそれぞれに個別の広告を出すサービスなどを提供。誰にどの広告を出すべきか判断する部分にAIを活用しています。                              | 5.3% |
| 2  | イェルプ               | AIの地元<br>案内所   | 世界の主要都市において、レストランやエンターテインメントなどの情報を収集し、評価するサービスを行っています。独自開発したAIにより、1億を超えるレビューを整理・分析・評価し、ユーザーへの推奨としてフィードバックしています。AI機能の充実により、推奨精度の向上を目指しています。        | 4.0% |
| 3  | セールスフォース<br>・ドットコム | AI営業<br>アシスタント | 営業専門職の人々に使用され、顧客、売上げ、経営に関するデータの管理に活用されている、CRM（顧客管理）ソフトを提供しています。積極的にAI関連企業の買収を推進してきており、間もなくAI機能を活用した新製品を発表するといわれています。                              | 3.8% |
| 4  | スプランク              | AIの胃腸          | 機械が集めたデータを、AIが栄養として吸収できる形に変える技術を持った、AIの胃腸のような企業です。データを取り込む際に不可欠な、検索、相関判断、モニタリング、レポートングのできるソフトウェアを開発しており、AIがビッグデータを消化するための「胃腸」の役割を果たしています。         | 3.8% |
| 5  | サービスナウ             | AIヘルプデスク       | パナソニック・インフォメーションシステムズや金融大手のGEキャピタル、スタンダード・ライフなどが採用する、AIを使ったITベースのヘルプデスク。AIを導入することでこの自動応答の精度を高め、更に効果的な問題解決の実現を可能としています。                            | 3.7% |
| 6  | インチュイト             | AIの税務会計<br>事務所 | 様々な職種の中小事業者が手軽に利用できる会計・税務申告用のソフトウェアの開発・販売や、AIによる自然言語処理と機械学習機能を利用して、自動化された確定申告アプリも提供しています。会計処理アプリもAIが最適な事例を抽出し、フィードバックする機能を備えています。                 | 3.6% |
| 7  | エクイニクス             | AIのデータ問屋       | データセンター内での企業間相互接続時に重要なポイントとなる、データ転送時の情報処理の高速化に強みがある企業です。AI開発企業の間では、データセンターでの相互接続を実施する企業が増えてきており、AI開発を促すパイプ役を担っています。                               | 3.6% |
| 8  | テスラ<br>・モーターズ      | AI自動車<br>メーカー  | 自動運転車の開発会社。自動運転車の開発に関してAI技術を活用しています。また、「フリート・ラーニング」機能によって、同社の自動運転車が互いに情報を共有したり、自動車業界で初めて自動的に各種ソフトウェアの更新するOTA（Over-The-Air）サービスの提供を行っています。         | 3.5% |
| 9  | パロアルト<br>ネットワークス   | AI<br>セキュリティ   | 企業や政府機関などにネットワーク用セキュリティのインフラ製品を提供しています。これまでの一般的なセキュリティでは、既に知られたタイプの攻撃にしか対応できず、新たなタイプの検知には時間がかかっていましたが、人工知能を活用することでファイルの特徴などから時間を短縮しました。           | 2.9% |
| 10 | マイクロン<br>・テクノロジー   | AI半導体          | 2015年7月にインテルと共同で新しいメモリ技術3D XPointを発表し、まもなく製品化される見込みです。この3D XPointは従来のメモリーに比べ少なくとも1,000倍は高速に動作し、ビッグ・データの集積・分析、機械学習といった分野で大幅なスピードアップが進むものと期待されています。 | 2.8% |

（出所）Bloomberg、アリアンツ

※組入比率は、マザーファンドの純資産総額を100%として計算しています。

※上記は2016年9月14日時点のポートフォリオであり、当ファンドの将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

※当ファンドにおいて今後も上記銘柄の保有を継続するとは限りません。また上記銘柄の推奨を目的とするものではありません。



## ファンドの特徴

1. 世界の市場株式の中から、AI（人工知能）の進化、応用により高い成長が期待される企業の株式に投資を行います。
  2. AIに関連する企業の投資戦略に強みをもつ、アリアンツ・グローバル・インベスターズ U.S.LLCが実質的な運用を行います。
- ※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

## ファンドのリスクおよび留意点

### 基準価額の変動要因

ファンドは、主に内外の株式を投資対象としています（マザーファンドを通じて間接的に投資する場合を含みます。）。ファンドの基準価額は、組み入れた株式の値動き、当該発行者の経営・財務状況の変化、為替相場の変動等の影響により上下します。基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。運用の結果としてファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。したがって、ファンドは預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく、一定の投資成果を保証するものでもありません。

※ 基準価額の主な変動要因として、○価格変動リスク（株式市場リスク/信用リスク）、○為替変動リスク、○カントリーリスク、○市場流動性リスク等があります。詳しくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の投資リスクをご覧ください。

## お申込みメモ（詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）

|             |   |
|-------------|---|
| 購入・換金の申込受付日 | 原則として、申込不可日を除きいつでも購入、換金の申込みができます。   |
| 購入単位        | 販売会社または委託会社にお問い合わせください。   |
| 購入価額        | 購入申込受付日の翌営業日の基準価額となります。   |
| 換金価額        | 換金申込受付日の翌営業日の基準価額となります。   |
| 換金代金        | 原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目以降にお支払いします。   |
| 申込不可日       | ニューヨークの取引所またはニューヨークの銀行の休業日のいずれかに当たる場合には、購入、換金の申込みを受け付けません。  |
| 決算および配分     | 年1回（毎年9月25日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配方針に基づき分配を行います。<br>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。  |
| 信託期間        | 2016年9月9日から2026年9月25日まで   |
| 繰上償還        | 委託会社は、受益者にとって有利であると認めるとき、残存口数が10億口を下回ることとなったとき、その他やむを得ない事情が発生したときは、あらかじめ受益者に書面により通知する等の所定の手続きを経て、繰上償還させることがあります。  |
| 課税関係        | 課税上は株式投資信託として取り扱われます。<br>公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」、未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA（ニーサ）」の適用対象です。ただし、販売会社によっては当ファンドをNISA、ジュニアNISAでの取扱い対象としない場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。<br>配当控除の適用はありません。<br>※上記は作成基準日現在の情報をもとに記載しています。税法が改正された場合等には、変更される場合があります。 |

## ファンドの費用（詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）

### ① 投資者が直接的に負担する費用

|         |   |
|---------|---|
| 購入時手数料  | 購入価額に <b>3.24%（税抜き3.0%）</b> を上限として、販売会社がそれぞれ別に定める手数料率を乗じた額。<br>詳しくは販売会社にお問い合わせください。 |
| 信託財産留保額 | ありません。  |

### ② 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

|              |   |
|--------------|---|
| 運用管理費用（信託報酬） | ファンドの純資産総額に <b>年1.89%（税抜き1.75%）</b> の率を乗じた額   |
| その他の費用・手数料   | 上記のほか、ファンドの監査費用や有価証券の売買時の手数料、資産を外国で保管する場合の費用等（それらにかかる消費税等相当額を含みます。）が信託財産から支払われます。これらの費用に関しては、その時々取引内容等により金額が決定し、運用状況により変化するため、あらかじめ、その金額等を具体的に記載することはできません。 |

※ファンドの費用（手数料等）の合計額、その上限額、計算方法等は、投資者の保有期間に応じて異なる等の理由により、あらかじめ具体的に記載することはできません。

## 委託会社、その他の関係法人

【委託会社】三井住友アセットマネジメント株式会社（ファンドの運用の指図等を行います。）

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

【受託会社】株式会社りそな銀行（ファンドの財産の保管および管理等を行います。）

【販売会社】委託会社にお問い合わせください。（ファンドの募集・販売の取扱い等を行います。）

【投資顧問会社】アリアンツ・グローバル・インベスターズU.S.LLC（マザーファンドの運用指図に関する権限の一部委託を受け、信託財産の運用を行います。）

## 販売会社

| 販売会社名              | 登録番号                      | 日本証券業協会 | 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 | 一般社団法人日本投資顧問業協会 | 一般社団法人金融先物取引業協会 | 備考 |
|--------------------|---------------------------|---------|--------------------|-----------------|-----------------|----|
| S M B C 日興証券株式会社   | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号 | ○       | ○                  | ○               | ○               |    |
| S M B C フレンド証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第40号   | ○       | ○                  |                 |                 |    |

## 重要な注意事項

■ 当資料は、三井住友アセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。■ 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、当資料は三井住友アセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■ 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。■ 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。■ 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および目論見書補完書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等は販売会社にご請求ください。■ 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。